



患者・市民参画を推進するための 研修会の企画について



研究班事務局：

厚労科研有賀班事務局

帝京大学医学部緩和医療学講座内

Email : ppi-edu@teikyo-u.ac.jp

〒173-8605 東京都板橋区加賀2-11-1

電話：03-3964-1211（代）内線：33678または7732

Fax：03-3964-2016（直通）

研究課題

がん研究に患者・市民参画を実現するための患者・市民に対する
教育カリキュラム・プログラムの開発に関する研究（令和4～6年度）

研究代表：有賀悦子（学校法人 帝京大学）

教育カリキュラム評価ワーキンググループ長：片山佳代子（国立大学法人 群馬大学）

ご担当者 様

拝啓

第4期がん対策推進基本計画において「患者・市民参画の推進」については、ロジックモデルのアウトプット指標に「厚生労働省科学研究を基に開催された研修会の開催回数」が示されております。この厚生労働省科学研究とは、令和4年度に採択され、現在進行中の研究班「がん研究に患者・市民参画を実現するための患者・市民に対する教育カリキュラム・プログラムの開発に関する研究」（代表：帝京大学 有賀悦子）を指しています（以下、有賀班と称します）。

有賀班では、患者・市民の方が、がん研究に参画できるよう体系的に教育研修を受けられるようカリキュラムを開発し、それを広く一般に公開、併せて本教育カリキュラムを使って研修会を各団体あるいは各自治体等で開催できるよう支援し、本教育カリキュラムを使って開催された事例などをホームページで公開していきます。是非参考になさって下さい。

第4期がん対策推進基本計画を策定、実装されている各自治体のご担当者の方々に、まずは有賀班を知っていただき、研究班の教育カリキュラムを貴地域のがん対策にご活用いただきたく存じます。

敬具

有賀班ホームページ

がん研究
患者・市民参画 マナビの広場

<https://plaza.umin.ac.jp/ppi-ed/>

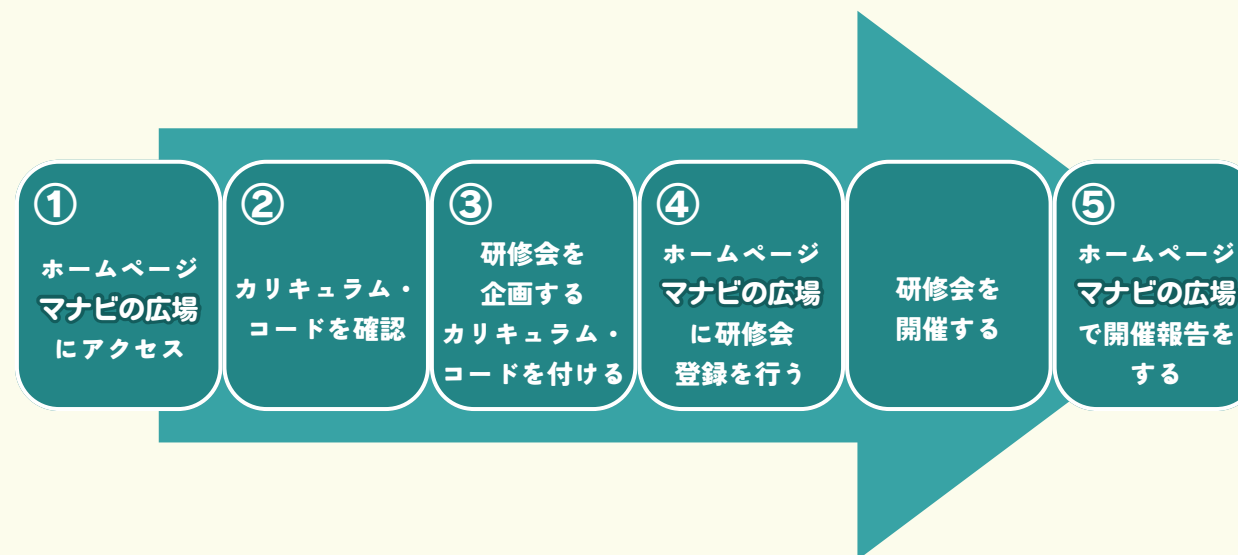
まずは一度、研究班ホームページをご覧ください。



「カリキュラムに基づいた患者・市民参画のための研修会開催手順」

カリキュラム・コードを活用した研修会を開催することは、患者・市民参画の啓発、普及の一助となります。ご協力をお願いいたします。

団体等個別情報は除き、研修会開催数や参加者数の総和は年次報告として公表していく予定です。



① ホームページ マナビの広場 にアクセス

②ここからカリキュラムコードを確認できます

④登録フォームはこちらから

⑤開催報告はこちらから

2024年夏、本研究班が主催する患者・市民参画の対面研修会を東京にて開催予定です。詳しくはホームページなどにてご案内する予定でおります。

②カリキュラム・コードを確認

令和4年 厚生労働省科学研究費がん対策推進総合研究

がん研究に患者・市民参画を実現するための患者・市民に対する教育カリキュラム・プログラムの開発に関する研究 (22EA1001)

モジュール				カリキュラム		
タイトル (pre-start)	目標	タイトル (start up)	目標	領域 (2語)	カリキュラム・コード	資質・能力 (コンピテンシー)
患者・市民参画 ことはじめ	"患者・市民参画"を初めて聞く市民に向けたモジュールです。 興味をもつきっかけ作りが目標です。 カリキュラムはどれを適応させても構いません。	患者・市民参画するには (患者・市民参画概論)	患者・市民参画に取り組んでみたいという思いを高め、入り口に立つことを目指します。 (さらに進んだ目標として、研究チームや会議体に参画し意見交換ができる)	参画	参画-1 興味	患者・市民参画のモチベーションを高める。
					参画-2 参画チャレンジと意見交換	患者・市民の参画にチャレンジし、建設的な意見交換ができる。
		がんを知ろう (腫瘍学・社会医学)	がんについて、自らのペースで知識を深めていきましょう。	がん	がん-1 腫瘍学	がん(腫瘍学)について、自らのペースで知識を深めていくことができる。
					がん-2 社会医学	がんに関する社会医学について、自らのペースで知識を深めていくことができる。
		がん研究ってどんなこと? (がん研究概論)	がん研究について、自分のペースで知識を深めていきましょう。	研究	研究-1 なぜ研究が必要なのか	なぜ研究が必要なのか? 研究という営みについて理解する。
					研究-2 アウトラインと計画	研究を遂行するための研究構造(アウトライン)を理解し、研究計画がどのように立案されるのかを理解する。
					研究-3 研究方法とデザイン	研究方法とデザインについて質問できる。
					研究-4 データ管理と公表	研究データ安全管理と研究成果の公表と活用について理解する。
医療統計に触れてみよう なぜ、必要? (医療統計・疫学)	身近な文章(ニュースや報告書)やがん研究論文で、医療統計や疫学が、どのように用いられているか体験してみましょう。	統計	統計-1 統計用語	医療統計の言葉に触れる体験をしよう。		
科学的根拠が社会で活用されるまで (科学的根拠と医療情報)	がん研究が、医療や社会の中での意思決定にどのように活用されているか学びます。	EB	EB-1 科学的根拠(EBM)とガイドライン	がん研究で得られた科学的根拠がガイドライン等を通してどのように意思決定に用いられるか知ろう。		
			EB-2 情報リテラシー	確かな情報を見分けよう。 情報リテラシーの重要性を知ろう。		
がん医療・研究に関わる人が守らなければいけないこと、知っておきたいこと (がん医療に関する倫理・法規・制度)	医療や研究に関わる人が守らなければいけない事柄として、倫理、利益相反、法規、制度について学びます。	EL	EL-1 がん医療の倫理	医療倫理・研究倫理、利益相反、個人情報保護について学ぶ。		
			EL-2 がん医療の関連法規・制度	その時代の最新のものを学ぶ。 がん対策基本法、薬機法、がん登録推進法、健康保険法(診療報酬、保険適応内外)、介護保険法、臨床研究法、倫理指針、健康増進法、労働安全衛生法、公的医療保険制度、高額医療費制度、患者申出医療制度等		

※選択してプログラムにつける

③ 研修会を企画する カリキュラム・コードを付ける

対面
研修会

2024年度 A県立病院 地域がん診療連携拠点病院 市民セミナー
「肺がんと信頼できる医療情報」

多くの市民の皆様の参加を病院一同お待ちしております。

2024年11月23日(土・祝) 13:00~15:00

開会の辞: 山田 太郎 病院長

特別講演① 13:05~13:35
『肺がんの診断と治療』 カリキュラム・コード がん-1
演者:呼吸器内科 田中 一郎 先生

事例紹介 13:35~13:50
『当院での治療の事例』
演者:化学療法室 中木 陽子 先生

特別講演② 13:50~14:10
『信頼できる医療情報の見分け方』 カリキュラム・コード EB-2
演者:腫瘍内科 木村 洋子 先生

特別講演③ 14:10~14:55
『患者さん向け肺がんガイドラインを読みましょう』
カリキュラム・コード EB-1, 2
演者:B大学附属病院 腫瘍内科 村井 二郎 先生

閉会の辞: 井口 庸子 副院長

● 当院を受診したことがなくても、どなたでも参加できます。
● 事前登録:11月20日まで。ファックスで受付中。事前登録とご質問は、連携室まで。Fax. 000-333-4444
● セミナーの最後に、アンケートにご協力をお願いします。

本セミナーは、厚生労働省科学研究で開発された患者・市民参画カリキュラムに基づいた研修会です(詳しく知りたい方はQRコードへ)

主催 A県立病院 後援 A県医師会

←QRコードを
必ずご掲載下さい
(研修会登録ページより
ダウンロードできます)

※QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です

※コードが重なっても可 ※複数のコードを使用可

④ ホームページ マナビの広場 に研修会登録を行う

研修会登録

以下のフォームから開催予定の研修会を申請してください。

※申請いただいた研修会は内容を確認の上、疑義が生じた場合確認のためご連絡差し上げることがございます。
研修会の内容によっては掲載できない場合がございます。ご了承ください。

連絡窓口担当者

担当者メールアドレス*
※申請される方の氏名及び連絡先は申請内容の確認以外の目的で使用することはありません

開催団体*
(例) 第〇回 日本〇〇学会学術集会

団体種別*

⑤ ホームページ マナビの広場 から開催報告をする

研修会の開催結果の登録をお願いしています。

研修会登録時に本サイトからお送りした登録内容確認メール(がん研究に参画しよう!患者・市民参画マナビの広場〇〇@〇〇.co.jpから送付しています)をご確認いただき、登録時と変更があった箇所は変更内容を入力してください。

研修会名

開催場所の都道府県*

企画者(主催団体)の都道府県
開催場所と異なる場合のみ

参加者数(人)*